

# 議長・副議長に渡邊氏・こんどう氏 平良木議員は5票を獲得 —議長選挙—

上越市議会は5月20日、臨時議会を開催し、議長選挙などを行って今後2年間の新しい体制を決めました。

最初に行われた議長選挙では、平良木、渡邊、石田の3議員が所信を表明し、議長就任への意欲を示しました。

平良木議員は、

- ① 市民の皆さんの代表として、市民の声を市政に反映させる議会をつくる。
- ② そのために、議会モニター制度の復活を含めて、市民意見を常に活かせる仕組みをつくる。
- ③ 議会報告会と市民との意見交換会は、議会での議論がわかるように、異なる意見や主張をそのまま市民の前に披露する。
- ④ 通年議会を実施し、あらゆる事態に機敏に対応できるようにする。
- ⑤ 常に市民生活を守る立場で行政と対峙していく議会にする。
- ⑥ 多数決の原理を尊重しながらも、少数会派の意見、主張をしっかりと取り入れる。

などを所信として表明しました。

その後、全議員による投票が行われ、

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.830 2024年5月26日  
連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))  
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

次のような結果になりました。

平良木 哲也	5票
渡邊 隆	17票 当選
石田 裕一	9票

平良木議員は、日本共産党議員団以外からも投票を重ね、5票を獲得しました。

なお、当選した渡邊氏は、所信表明の冒頭、「過去に議会人・公人としてあるまじき行為があり迷惑をかけた人物だ。あらためて申し添える」と述べましたが、特に反省の言葉はなく、「議会も時代の変革・多様性に応じていく転換期である」「質疑・質問の形骸化に対し、あり方を検討していきたい」などと述べました。今後の動向やマスコミの反応などを注視していく必要があります。

その後行われた副議長選挙では、日本共産党議員団はこんどう彰治議員との間で、「より多くの市民が参加し発言できるよう、議会報告会の運営改善を図る」「議場等に、タブレット以外のIT機器を持ち込み、活用できるように努力する」「少数意見を尊重し、議会の民主的運営に努める」などの「申し合わせ」を結び支援しました。

その後行われた投票の結果、こんどう彰治議員が当選しました。投票結果は次の通りです。

こんどう 彰治	20票 当選
山田 忠晴	12票

# 党議員は3人ともそれぞれ役職に 各常任委員会等の構成決まる

選挙後初の議会となる20日の臨時議会では、正副議長の他、各常任委員会などの構成も決まりました。

各会派代表によって、これまでに数回の話し合いが行われ、少数会派の希望を優先しつつ、各会派の構成員がまんべんなく配分できるようにすることを基本にした配置になりました。

その結果、下の表のような構成になりました。日本共産党議員団の3人は、上野議員団長が文教経済常任委員会の副委員長、橋爪副団長が災害対策特別委員会の委員長、平良木議員が厚生常任委員会の副委員長と、3人全員が何らかの役職に就くこととなりました。

なお、今回は新人が11人と多いこともあり、2人の新人が特別委員会の副委員長に就任することになりました。

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	小林和孝	宮崎朋子	平良木哲也、飯塚義隆、高橋浩輔、高山ゆう子、西沢智子、橋本洋一
常任委員会	総務	高山ゆう子	橋爪法一、こんどう彰治、櫻庭節子、滝澤陽一、宮越馨、渡邊隆
	厚生	高橋浩輔	平良木哲也、江口修一、熊倉隆将、ストラットン恵美子、西沢智子、丸山章、宮崎朋子
	農政建設	滝沢一成	山田忠晴、飯塚義隆、草間和幸、小林和孝、関川信之、本城文夫、牧井邦生
	文教経済	安田佳世	上野公悦、石田裕一、伊崎博幸、大島美香、平原留美、降旗太地、山本佳洋
特別委員会	災害対策	橋爪法一	江口修一、飯塚義隆、石田裕一、草間和幸、高山ゆう子、宮崎朋子、山田忠晴
	人口減少社会対策	本城文夫	滝澤陽一、平良木哲也、伊崎博幸、熊倉隆将、橋本洋一、牧井邦生、渡邊隆
	観光振興対策	宮越馨	平原留美、大島美香、こんどう彰治、高橋浩輔、滝沢一成、丸山章、安田佳世
広報広聴委員会	ストラットン恵美子	櫻庭節子	上野公悦、小林和孝、関川信之、西沢智子、降旗太地、山本佳洋

橋爪議員は災害対策特別委員会委員長に